

これからの20年、さらにその先を見据えた重要な一步を踏み出す「礎」を築き、いつまでも住み続けたい常総市を創る

1 次代を創る3つの「重点柱」

重点1 子どもまんなかまちづくり常総

施策を総動員し、常総市の次代を創る子どもや若者を応援し、全ての常総市民が将来にわたって幸せに暮らすまちづくりを推進します

- 子育て環境の充実
- 子どもの居場所づくり
- 子育て世帯の負担軽減
- 教育環境の充実

重点2 未来につなげる地域づくり

日常生活の中心となる「地域」を基礎として、安全・安心・快適に住み続けられる環境の整備を推進します

- 防災先進都市の強化
- 地域コミュニティの充実
- A I まちづくりの推進
- 地域基盤の強化

重点3 市民に便利な常総市役所DX

多様化する市民ニーズに対応し、適切なサービス提供を行い、市民に頼りにされる市役所業務を促進するためのDX化を推進します

- 手続き効率化によるサービス向上
- 多言語化対応の強化
- 庁内システムの機能強化

2 現場の課題を解決・改善し未来につなぐ「部門重要施策」

現場（部門）の課題に即した効果的な重要施策の実行を進め、「じょうそう未来創生プラン（～令和9年度）」を着実に達成し、市民生活の向上を継続的に促進します

- ①市民参画の推進
- ②保健・医療・福祉の充実
- ③学校教育・生涯学習の推進
- ④生活環境の充実
- ⑤都市基盤の充実
- ⑥産業の振興
- ⑦行財政運営の効率化

「みんなでつくる しあわせのまち じょうそう」を実現し

常総市の次代を創り さらなる飛躍に向けた一年に

● **子育て環境の充実**

○ **不妊治療助成事業【新規】** **2,400千円**

不妊治療において保険適用された治療と併用して自費で実施する先進医療について1回あたり40,000円を上限として助成を行い、妊娠を望み、不妊治療を希望する方の経済的負担を軽減し、不妊治療に取り組みやすい体制を整えます。

○ **1か月児健診【新規】** **1,957千円**

1か月児健診の健診費用について6,000円の補助を行い、健診の受診状況や受診結果を市でも把握し、未受診者や要支援者に早急に働きかけをすることで、産後の母子の健康を守ります。

○ **5歳児健診【拡充】** **1,314千円**

5歳児を対象とした集団健診を新たに実施し、1か月児健診（新規実施）や法定健診（1歳6か月児及び3歳児）と合わせて、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査体制を構築することで、子育て世代を応援します。

○ **幼児歯科検診【拡充】** **1,609千円**

5歳児を対象としたフッ化物塗布を含む歯科健診を地元歯科医師会に事業委託して実施し、健診を機にかかりつけ歯科医を持ち、定期的に診てもらうことで幼児の虫歯予防につなげていきます。

○ **きぬ医師会病院小児科神経発達外来運営事業【拡充】** **3,220千円**

令和7年4月に開設したきぬ医師会病院小児科内の小児神経外来について、開設以来混雑が続いているため、事務員や看護師に係る医療従事者の運営（人件費）を拡充し、診察や検査を希望する子どもの待ち時間短縮を図ります。

○ **乳児等通園支援事業【新規】** **5,280千円**

保護者の就労要件を問わず、満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象に、利用を希望する子ども全員が利用できる環境を整え、子どもの目線から育ちを応援し、良質な成育環境づくりを進めます。

○ **教育・保育施設業務支援システム導入事業【新規】** **7,728千円**

私立教育・保育施設では導入が進んでいるICTシステム（計画や記録を電子的に管理できるシステム）を公立幼稚園及び公立保育所に導入します。これまで手書きで行ってきた業務を電子化することにより、保育士等の負担を軽減し、子どもと接する時間を増やすことで幼児教育・保育の質を高めます。また、アプリによる出欠管理等により保護者の利便性向上を図ります。

○ **不登校児童生徒支援事業【継続】** **2,064千円**

不登校児童生徒数は年々増加の傾向にあるなか、かしのきスクールに通室する児童生徒及び保護者を対象に、通室またはオンラインにより、児童生徒へのメンタルケア及び学習サポートや保護者へのコーチングなど、対象者への丁寧な支援を行い、児童生徒の社会的自立や家庭へのサポートを推進します。



● **子どもの居場所づくり**

○ **水海道地区市街地まちづくり事業** 【継続】 **917,000千円**

公共施設の改修や集約整備を官民連携で実施すると共に、公園・歩行者通行空間を改修して利便性向上と親子が安心して利用できる環境を整備し、市民主体による賑わい創出を支援します。

■ 主な事業

（整備）児童センター、交流センター

（改修）市民の広場、市民コミュニティホール、ポケットパーク、親水公園、道路

（その他）市民活動支援など

● **子育て世帯の負担軽減**

○ **小中学校給食費無償化事業** 【新規】 **232,418千円**

学校給食を安定的に供給し、常総市の子どものカラダとココロを育てるとともに、小学校と合わせて中学校の給食費を無償化し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

○ **おかえり常総奨学金返還支援事業** 【継続】 **432千円**

本市から奨学金の貸与を受け、大学等を卒業した後、本市に居住している者を対象として補助金を交付する奨学金の返還支援制度を継続運用し、若年層（特に子育て世帯）の経済的負担の軽減を図るとともに、人口流出の防止、定住促進、市内企業への就職増などを図り、定住人口の増加を目指します。



● **教育環境の充実**

○ **外国語対応事業（ALT）** 【拡充】 **67,574千円**

現在幼稚園・小中学校に派遣しているALTを増員し、生徒等がネイティブの英語を聞いたり、ALTと英語で触れ合う機会を増やし、英語教育を充実させることで、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

○ **外国語対応事業（英検補助）** 【新規】 **765千円**

中学生を対象に、準会場での実用技能英語検定料の半額補助を行い、英検3級を取得した割合を全国平均レベルに押し上げていきます。

○ **AIドリル導入事業** 【拡充】 **11,400千円**

小中学校における一人一台のGIGA端末の利活用促進を図り、人工知能（AI）を活用したドリル教材を導入することで、生徒一人一人の個別最適な学びを推進し、だれ一人取り残さない教育の実現を目指します。

○ **教育指導充実事業（平和教育）** 【新規】 **300千円**

各中学校の代表生徒が広島県広島市で行われる「全国平和学習の集い」と「全国こども平和サミット」へ参加し、被爆地での平和学習をすることによって、戦争や原爆被害が現実になった出来事について各校でそれぞれ報告会を行い、平和を尊重する意識を学校全体で共有していきます。

● 防災先進都市の強化

○ 防災力強化の推進【拡充】 2,299千円

防災先進都市としてのさらなる強化を図るために、防災備蓄品の拡充や防災井戸の充実を継続的に進めていきます。

● 地域コミュニティの充実

○ 地域コミュニティ協議会支援補助金【拡充】 8,400千円

地域コミュニティ協議会の設立のための運営・活動、設立後の運営・活動への補助金の交付及び職員の人的支援を行い、住民が主体となって地域の課題解決に取り組む体制づくりを推進します。

● AIまちづくりの推進

○ AIまちづくり推進事業【継続】 30,749千円

「常総AIまちづくりコンソーシアム」の活動を推進し、地域課題プロジェクトに取り組むとともに、市内小中学生を対象としたロボットプログラミング講座を通じた将来のAI人材育成、AIモビリティ体験やAIまちづくりの認知拡大に資するイベントなどを行い、AIなどの先端技術を活用した若年層が定着しやすいまちづくりに取り組みます。

● 地域基盤の強化

○ 圏央道スマートIC整備事業【拡充】 38,200千円

大生郷工業団地周辺において圏央道スマートICを誘致することで、交通利便性の向上、さらなる広域交通ネットワークの形成を図り、企業誘致の促進や地域振興、防災力強化につなげます。令和8年度は国の新規事業採択に向け、関係機関との協議及びそのための設計、分析等を実施します。

○ 大生郷工業団地北部地区産業団地整備事業【拡充】 38,000千円

大生郷工業団地北部エリアに新たな産業団地を形成し、企業誘致や産業育成等を推進することで、雇用拡大や地域経済活性化、市の税収増などにつなげます。令和8年度は官民連携での産業団地整備に向け、地権者の合意形成等を実施します。

○ 立地適正化計画更新業務【継続】 5,533千円

立地適正化計画策定からおおむね5年経過したことから評価検証を行い、誘導施策や既存誘導区域の見直し検討など、防災先進都市として効率的なコンパクトシティの実現を目指します。

○ 都市計画の変更【継続】 1,474千円

都市計画決定から20年以上未着手の都市計画道路について、令和6年度に完了した都市計画道路再検討調査の結果に基づき、都市計画道路の都市計画変更の手続きを行い、住民の土地利用の向上及び居心地がよく歩きたくなるまちを目指します。



○	相続人調査事務のDX化【新規】	826千円
---	-----------------	-------

○ 障がい福祉システムRPA導入事業【新規】 2,206千円

○ **多言語通訳システム導入事業** 【新規】 1,439千円

○ eL-TAX・PMH対応機器等調達【新規】 6,944千円

[illegible]

① 市民参画の推進

○ 集会施設の整備に対する補助【継続】 9,329千円

市内77の集会施設の多くが老朽化が進行している中で、集会施設を常に利用可能な状態に維持するための改修や、機器の更新等を行い、各地域におけるコミュニティの拠点整備を進めていきます。

○ 元気のみなもと補助金【継続】 1,180千円

市民等によって組織される任意団体が行う公益的活動に対する補助金の交付を通じて、団体による自発的かつ自律的な取組を促進します。令和8年度は、中心市街地活性化を目的とした事業および地域の高齢者の介護予防推進を目的とした事業を応援するため、経費の一部を補助します。



② 保健・医療・福祉の充実

○ 健診受診勧奨事業【新規】 4,621千円

後期高齢者を対象に、各自の健康意識の向上につなげるため、対象者選定や受診勧奨、効果検証を委託事業で行い、健康診査の受診率を上げていきます。

○ 常総市障がい者プラン更新事業【新規】 2,962千円

「第7期障がい者プラン」に基づき、これまでの3年間の障がい者福祉施策を検証し、利用者データ等を使用して短期間で集計・分析を行うと共に、制度改正を踏まえて事業内容を見直して計画を策定します。

○ 被保護者就労支援事業【拡充】 4,515千円

就労支援員が生活保護を利用している方々のうち自立の意欲のある方に対して、就労機会の提供、就労に必要な書類等の支援、さらには就労後のフォローアップを行います。また、生活の立て直しが困難になる状況を打破するため、積極的にサポートしていきます。就労意欲の向上や就労移行等を支援することで生活保護利用者が安定した収入を得て自立に向かうことができます。

○ 高齢者補聴器購入費助成事業【拡充】 1,500千円

中等度の聴力低下があると専門医に診断された65歳以上の高齢者に対して補聴器購入費を助成（30,000円を上限とし、本体価格の2分の1）を行うことで、言葉がよく聞こえない中でコミュニケーションを行うことのストレスを軽減し、閉じこもり等による認知機能の低下を予防します。

③ 学校教育・生涯学習の推進

○ 小中学校ICT環境更新事業【拡充】 85,157千円

ゼロトラストネットワーク環境を構築するとともに、児童生徒の基本情報、出欠情報、成績情報及び保健情報等の記録を一元管理・蓄積できる統合型校務支援システムを導入し、効率的・効果的な学校運営を行うためのICT環境を整備し教育水準の向上等を図ります。

○ 学校給食費債権回収事業【拡充】 2,376千円

学校給食費の滞納については、督促状・催告状の送付や児童手当支給時の窓口相談、臨戸訪問など、市としての滞納者を増やさない取組を続けるとともに、債権回収を弁護士に業務を委託することにより給食費の滞納を改善し、保護者負担の公平性の確保を図ります。

○ 社会教育施設等個別施設計画策定業務【新規】 13,500千円

常総市内にある22箇所の社会教育関連施設のほとんどが30年以上の築年数を経過し、建物や内部設備の経年劣化が進み、施設の劣化と機械類の故障などが発生しているなか、今後の施設の在り方の方針や維持管理計画を策定し、費用対効果の高い維持管理を図ります。

④ 生活環境の充実

○ 消防ポンプ車購入事業【継続】 63,146千円

災害現場での適切な活動が不可欠となる消防ポンプ自動車について、必要な車両等を計画的に更新・整備し、消防体制の強化を図ります。

○ 鬼怒・小貝水防訓練実施事業【拡充】 2,000千円

周辺4市1町と共に常総市において「鬼怒・小貝水防連合体水防訓練」を実施し、出水期に備えて消防団の士気を高め、水防技術の向上や、水防関係機関との連携を図り、河川氾濫時の被害の抑制につなげていきます。

○ 防犯灯維持管理【継続】 2,500千円

市内にある約6,000灯の防犯灯について、適切な維持管理を行うことにより、夜間における犯罪、事故等の発生防止と安全安心な市民生活の向上を図り、安全な地域づくりための環境を整備します。

○ 常総市環境基本計画の改定【新規】 ※7,130千円

常総市域全体における環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために環境基本計画を策定します。

※ 予算額は、債務負担行為2か年の限度額



⑤ 都市基盤の充実

○ 道路整備・維持事業【継続】 536,060千円

市が管理する道路の舗装，橋梁の点検，通学路の安全対策等を継続し，市民の安全な交通環境の確保に努めます。

○ 地域公共交通計画の改定【拡充】 6,000千円

地域の多様な関係者が連携，協働して地域交通の再構築（リ・デザイン）を進め，誰もが暮らしやすい，自由に移動できる持続可能な社会の実現につなげるため，無理なく・難しなく・実のある「地域公共交通計画」へのアップデート（次期計画の策定）を行います。

○ ふれあい号運行【拡充】 19,718千円

燃油価格や人件費の高騰といった社会情勢の変化に対応した運行体制を構築することで，ふれあい号運行の維持を図り，市内の交通空白地解消を目指します。

○ 都市計画基礎調査業務【新規】 7,200千円

都市再生に向けた施策等の検討を行うため，都市計画法に規定する都市計画区域の基礎調査（最新の航空写真及び住宅地図等を用いた机上調査及び現地調査）を実施します。

○ 公共下水道等事業【継続】 ※865,637千円

公共下水道事業や農業集落排水の施設における管理や新規整備等のため，継続的に一般会計から下水道事業会計への繰出を行い，下水道インフラの維持・推進を図ります。

※ 一般会計からの繰出金



⑥ 産業の振興

○ 小規模土地改良事業費補助金【拡充】 5,500千円

小規模な土地改良事業（揚水ポンプや小規模排水路の修繕等）を行う団体（農家組合等）に対し，所定要件に基づいて1件当たり50万円を限度に支援し，農業生産の基盤の整備を推進します。

○ 創業・新事業展開支援補助金【継続】 2,100千円

小規模事業者の持続的な発展を目指し，市内で創業又は新事業活動を行う方に対し，最大30万円を助成します。

○ 雇用拡大奨励金【拡充】 1,800千円

企業の立地や雇用の拡大を図るため，事業所の新設等に際して市民を新たに雇用した事業者に対し，1人当たり10万円を交付します。

⑦ 行財政運営の効率化

○ 常総市総合計画基本構想策定事業【新規】 8,437千円

新しい総合計画では，市民により満足していただける行政サービスを実現するため，政策・予算・組織を一体的に動かす仕組みを整えます。これにより，無駄のない効率的な事務運営や，効果の高い政策の実行につなげ，市の指針となる計画としてまとめていきます。

○ 地域手当の支給割合改定【拡充】 135,220千円

常総市独自の方針として，地域手当を6%に増額改定することで，常総市職員の待遇改善や意欲向上を図るとともに，採用試験の受験者数の維持及び退職者増加の抑制を図り，市民サービスの維持・向上を図ります。また，旅費制度に関する日当等の廃止を合わせて実施します。